

登山者の皆様へお知らせとお願い

知床の登山道再開にむけた 今後の取組みについて

2025年8月に羅臼岳で発生したヒグマ人身事故の影響により、下図の登山道・遊歩道は現在閉鎖中です。
2026年7月からの利用再開を目指し、再発防止の対策を準備しています。

閉鎖解除予定日：

2026年7月5日(日)

※諸事情により日程が変更となる場合があります。



ヒグマによる人身事故を防ぐためのお願い

知床半島は、ヒグマが高密度に生息している場所です。ヒグマのリスクを理解し、最新情報の確認と事前の準備をしてください。**登山道が開いている＝絶対安全ではありません。**

リスクを把握し、自らの技量や装備を踏まえたうえで、**「登る・登らない」**の判断はご自身で行ってください。登山計画書の提出も忘れずをお願いします。

突然の遭遇を防ぐ



ヒグマとの予期せぬバッタリ遭遇がもっとも危険です。

登山の際は、「**クマ鈴や声出しなどで音を鳴らす**」「**見通しの悪い場所や暗い時間帯は特に注意する**」「**単独行動を避ける**」などの対策をご自身でしっかりと行ってください。

万が一に備える



万が一、登山道でヒグマから攻撃を受けた場合に備え、「**クマ撃退スプレー**」を携行することを強く推奨します。またスプレーは、ザックの中などに入れず、すぐに取り出せる場所に身につけてください。ホルスター等に入れ、誤射しないようにご注意ください。

※クマ撃退スプレーは、知床自然センター、知床羅臼ビジターセンター、ルサフィールドハウスにて貸出を行っています（¥1,100/24H）。

引き寄せない



ヒグマは非常に鼻の良い動物です。人間の食料やゴミの匂いでヒグマを引き寄せないように、**匂いが出るものは密閉式の袋に入れる**などしてください。山中で泊まる場合は決められた野営地に泊まり、食料やゴミは必ず野営地に設置している**フードロッカー**に保管してください。

事故再発防止のための新たな取り組み

登山エリアでのヒグマ情報の提供

登山口やウェブサイトへ登山者に向けたヒグマ情報の発信を強化します。特に、登山前に確認の必要なヒグマの目撃情報や注意喚起情報などは随時更新し、発信する予定です（7月～9月）。

ヒグマリスクに応じた登山道の緊急閉鎖

登山道で危険な行動をとるヒグマ（問題個体）が確認された場合など、人身事故のリスクが高いと判断された場合、各登山口を緊急的に閉鎖します。

問題個体への厳格な対応

危険な行動をとるヒグマ（問題個体）への捕獲を含む対応の強化を図ります。自然公園法等に基づくヒグマへの接近・餌付け行為への厳格な指導を実施します。

疑問を解消し、万全の準備で山へ向かいましょう

再発防止対策と今後の登山道利用に関する Q&A

1 登山道の利用が再開されるということはもう安全ということですか？

いいえ。山にはヒグマに限らず、天候による低体温症、落石、滑落等、様々なリスクがあります。登山口が開いていてもそのリスクがゼロになることはありません。自分の安全は自分で守ることを原則とし、ご自身の技量や装備、知識を含む事前準備を今一度確認して、登山の実施や行動の判断をしてください。

2 登山口の閉鎖は事前に予告されますか？閉鎖した際はどこに情報が掲示されますか？

緊急的に判断するため、予告はできません。ただし、閉鎖した場合はウェブサイト等でリアルタイムに情報を更新し、登山口の掲示板にも情報を発出します。登山前にはHP「知床情報玉手箱」や「知床のひぐま」をご確認ください。

知床のひぐま：<https://brownbear.shiretoko.or.jp/>
情報玉手箱：<https://center.shiretoko.or.jp/i-box/>

3 「新たな取り組み」は他の遊歩道でも施行されるのですか？

今回の取り組みは羅臼岳登山道（岩尾別コース、羅臼温泉コース）、硫黄山登山道、知床連山縦走路、羅臼湖遊歩道を対象として実施するものです。知床岬へ向かう海岸トレッキングや沢登り、冬山登山などは対象としていません。従前通りご自身の責任と判断に委ねられます。

4 登山中に登山口が閉鎖になった場合、どうすればいいですか？

もし山行中に登山口閉鎖の情報を得た場合は、最新情報の入手に努めるとともに登山を中止してください。下山時には自身の周囲に十分注意しながら進み、別のパーティーがいる場合は、できるだけまとまり複数人で下山を試みてください。

5 登山者に求められる対策や手続きはありますか？

知床地域での登山の計画にあたっては、利用の心得（ルール）の確認と遵守をお願いします。また、求められるヒグマ対策についても心得にまとめられています。また、登山前にはリスク情報（注意喚起情報）を必ず確認して下さい。利用の心得やリスク情報については準備ができ次第、ご案内予定です。

6 今後、登山道の利用可能な期間は固定されるのですか？

今年度は、再発防止対策の準備のため、登山口の利用は7月5日以降としています。登山道の再開以降は、利用期間などを定める予定はありませんが、登山道を対象とした情報発信や緊急閉鎖などのヒグマ対策は、主に7月～9月の期間に行う予定です。

最新のヒグマ出没情報については、右記のサイトからご確認ください。
<https://brownbear.shiretoko.or.jp/>



知床のひぐま

2025年8月のヒグマによる羅臼岳人身事故の報告書および再発防止策の概要については、下記URLよりご確認ください。

知床データセンターHP(環境省)

<https://shiretokodata-center.env.go.jp/press/houdou.html>